

令和2年度 地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業  
 (一社) 全国木造建設事業協会\_災害時における大工技能者の技術・技能向上等事業

仮設講習会\_成果報告書 (概要)

共同企業体規約先名	全木協 島根県協会
都道府県名	島根県
提案の名称	応急仮設木造住宅施工実施研修会
実施日	2021年1月16日 午前9時30分～午後4時30分
場所	島根県立東部高等技術校 (島根県出雲市長浜町 3057-11)
出席者総数	49名
出席者_運営側	役員・関係団体・事務局 11名
出席者_来賓	島根県土木部建築住宅課長 佐伯和夫 様、企画員 菅原 啓吾 様 2名
講師	全木協 技能統括本部長 高橋健二 様 全木協 統括本部 鈴木晴之 様 2名
受講者数	現地参加者 (22名)・リモート参加者 (10名)・見学者 (2名) 34名

1. 実施概要(講習会の準備から当日までの取り組み概要)

全木協島根県協会(島根県建築住宅施策推進協議会内)では、7月20日に主幹事・幹事工務店、関係団体、事務局で組織するワーキング会議を開催し、全木協本部(リモート)から仮設講習会について説明を受けた。

以降、関係者による打合せ会議を開催し、日程・会場・募集方法・準備及び運営等の検討を行った。

さらに、島根県土木部建築住宅課に講習会開催について協力依頼したところ、当日のご臨席のほか、全面的にバックアップいただいた。日程・会場については、県から推薦いただいた島根県立東部高等技術校が使用可能な日とし、令和3年1月16日(土)に決定した。

開催については、新型コロナウイルス感染症対策として現地聴講・見学者(JBN島根県会員及びと(一社)島根県建築組合連合会)の人数を30名以内とした。それを超える場合はZOOMによるリモート参加とし、現地参加者の人数を極力少なくした。

また、講師には、全木協本部に依頼、2名のリモート参加いただくこととなった。

そのほか、開催までの間、全木協本部(坂口様)に電話・メールで都度情報交換、資料の提供等指導をいただき、スムーズに準備を進めることができた。

なお、資材・機材の搬入や養生等の準備は講習会前日に、資材撤去・搬出は翌々日(月曜日)に実施することとし、当日の実技実習がスムーズに進行できるよう努めた。

2. 実施内容		
実施日	内容	参加者
7/20	講習会開催について打合せ(本部リモート)	本部・委員・事務局 14名
11/17	講習会開催について打合せ(リモート)	主幹事&幹事・事務局 5名
11/30	講習会開催内容について打合せ(リモート)	本部・事務局 4名
12/4	講習会開催内容について打合せ(リモート)	本部・事務局 4名
12/18	講習会開催内容について打合せ(リモート)	事務局 5名
1/8	講習会開催内容について打合せ(リモート)	本部・事務局 6名
1/15	講習会会場設営準備	事務局 3名
1/16	講習会開催	出席者総数 49名

3. 成果
<p>午前中の座学では、全木協の活動、施工上の注意点などを学ぶと同時に、熊本地震での活動内容をまとめたDVD「くまとの力」を上映し、理解を深めた。参加者一同で全木協の果たすべき役割とそれぞれが担うべき役割の重要性を再認識した。</p> <p>残念ながら、開始から20分間、リモート参加者に会場の音声が伝わらずご迷惑をおかけした。幸いリモート講義(全木協高橋講師・鈴木講師)時には復旧したものの、事前の準備が不十分であり反省材料となった。</p> <p>午後は、会場を体育館に変え、施工上注意が必要な界壁施工の実技講習を2班(各10名)に分かれて実施した。受講者には各自の準備品や実技図面を事前配布してこともあり、初対面の受講者同士で手探りではあったが、比較的スムーズに作業を行うことが出来た。</p> <p>建て方は、予定の1時間の半分程度で完了し、順調にスタートしたものの、後半の界壁施工では、「疲れ」とともに「不慣れ」なこともあり、ボードの二重貼り施工で継ぎ手部分をずらす割付のあたりで作業の停滞が見受けられた。後半は1時間半の予定時間を超過して終了した。</p> <p>アンケートではほとんどの参加者から「今回講習で取り組んだ事を今後活かせると思う」との回答があり、実際に経験する事の大切さを感じていただいた。</p> <p>一方、「現場指示が不明瞭であった。作業手順等、作業前の打合せが大事であると思った。」との意見もあった。監督者との事前打合せが不足しており、反省材料である。</p> <p>以上、不慣れな状況下での施工であったが、怪我や事故もなく終了できたこと、参加された皆様に感謝申し上げます。</p>

4. 今後の課題
<p>座学の時間配分について、施工の注意点解説の時間配分を多めにとり、監督者、リーダーの役割の確認や質疑の時間を設ける必要があった。</p> <p>実技での作業は比較的順調だったが、受講者が多かった為個々十分な実技ができなかったと思われる。</p> <p>また、指示が行き届かない場面も見受けられ、作業が一時停滞した。それぞれの役割分担や作業工程を確認する時間や事前の意見交換の時間を確保することが必要であると思われる。</p> <p>島根県協会では、来年度実施図面の整備を予定している。災害時の混乱状況を想定し、できる限り細部まで図面化する必要性を感じた。特に界壁については、端部(土台回り、屋根回り)の納まりを表現しておきたい。</p> <p>要望事項として、「発電機を使用する現場の場合、発電機の種類(性能)によっては、電動工具が壊れる場合があるので、保証を検討願いたい。」との意見があった。</p>

## 5. 写真、等

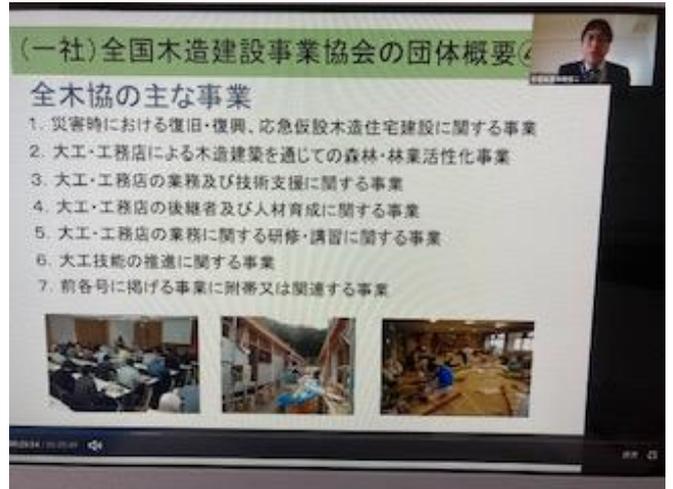
※講習会等の開催の様子など、事業実施に関するもの(タイトル、開催日等も記載のこと)

※講師の登壇写真、会場の開催風景等がわかる写真を貼り付けのこと

1/16 座学実施風景(全景) ↓



1/16 座学実施風景(高橋講師リモート講義) ↓



1/16 座学実施風景(主催者挨拶:今井会長) ↓



1/16 座学実施風景(鈴木講師リモート講義) ↓



1/16 座学実施風景(来賓挨拶:佐伯課長) ↓



1/16 座学実施風景(図面説明) ↓



1/16 実技実施風景・実技(建て方) ↓



1/16 実技実施風景(界壁施工) ↓



1/16 実技実施風景(建て方:作業開始) ↓



1/16 実技実施風景(界壁施工:断熱材・ボード貼り) ↓



1/16 実技実施風景(建て方:作業完了) ↓



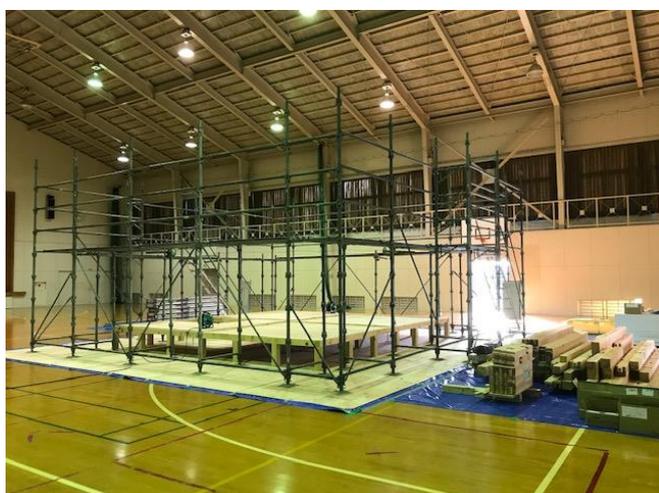
1/16 実技実施風景(界壁施工:鈴木講師講評) ↓



1/16 実施風景・参加者記念写真↓



1/15 前日準備完了↓



1/16 実技実施風景(解体撤去完了)↓



